

飾磨
名物

浜の宮台場差しマップ

と き

と ころ

交通手段

10月8日(金)・9日(土)

浜の宮天満宮
姫路市飾磨区須加40番地

山電飾磨駅下車南へ徒歩15分
市営バス姫路港行き須加北口
下車スグ



台場差しとは

1つの屋台につき24人の力自慢が、泥台・角(つの)を持ち、屋台を頭上高く差し上げる。

このため、龍が天に舞い上がるように、高く差されるため、下で受ける場合等の安全性を考え、練り棒は、全て丸形です。また台場差しを行う場合には、必ず太鼓を普通の位置より上に引き上げ、カンヌキは取り外してから行います。ですから、ここの屋台の特徴は泥台が広く、伊達綱は水切り付近に取り付け(現在は総才の下)、さらに高欄付近で巻かれているため高欄掛けは不要なのです。

浜の宮の特徴

～台場差しと彫刻～

パブルの影響は当地方の民俗芸能まで及んでおり、屋台もより大きく、より新しく、豪華に派手になっております。この中において比較的従来からの伝統の良さを残しているのが特徴であります。過年、姫路青年会議所が厳選して企画した彫刻展に3町の狭間を出展し、好評のため入場者数が新記録となりました。

また「台場差し」という一瞬を飲む技を持っており高欄掛けがない代わりに伊達綱がメガネ状に回っている独特の伝統が守られ、彫刻の良さを引き出すため、多くの工夫がほどこしてあります。

屋台の構造も灘仕様と異なり、浜の宮から西、魚吹神社、富島神社と津田神社と共通仕様でしたが、だんだん灘仕様になる中であってかたくなに守られています。

屋台は浜の宮に長く居りませんので順路をご確認頂きお越しください。シックで均整のとれた玄人好みのする屋台がご覧になれます。

この祭りは限定された層の祭りでなく、子供から高齢層まで参加できる良さがあります。